

第 6 学 年 体 育 科 指 導 案

指導者 赤塚 智哉
佐藤 美由紀
佐々木 譲

1. 単元（題材）名 器械運動 ～ マット運動 ～
2. 本時のねらい 技のポイントや練習法を知り、自己の課題を解決するための見通しをもつことができる。
3. 本時の実際（本時 1 / 6 ）

時 間	段階	形態	学習活動と予想される児童の反応	◇学習への支援 ☆評 価	センターの先生の支援
13:30	導	全	1. 準備運動をする。		・本時の運動に関連した体操をする。
13:35	展	全	2. 本時の学習について確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">技のポイントや上達する練習法を知ろう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の内容を掲示し、見通しをもって学習に取り組めるようにする。 ・待っている間はコースごとに、自分達で考えた練習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「前転・後転」「側方倒立回転」「倒立」の3コースごとに順番に技のアドバイスや練習法を紹介する。
13:40		グ	3. 教えてもらったことをもとに練習に取り組む。 （「前転・後転」→「側方倒立回転」→「倒立」の順にセンターの先生から技のポイントや上達するための練習法を教えて頂き、終わったコースから練習に取り組む。）	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの動きを観察し、個に応じて支援する。 ・よいところをほめて、楽しく練習に取り組めるようにする。 ・なかなか上手いできない児童は、センターの先生にアドバイスしてもらえようようにする。。 	
14:05	開	グ	4. ペアやグループで、今日のがんばりや成果を評価し合う。	☆ 教えてもらったことを生かして練習に取り組むことができたか。（観察，カード）	
14:10	全	終末	5. 学習のまとめをする。 ・学習カードに自己評価を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のがんばりをほめ、次時の意欲や見通しをもつことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の感想を話す。
次時の学習	自分の課題を意識して、それをクリアできるように考えて練習に取り組む。				